プラチナ展望

変動激しいマクロ経済要因が緩和されれば、多くの分野にわたるプラチナ需要の回復期待は大きい

Edward Sterck
Director of Research
+44 203 696 8786
esterck@platinuminvestment.com

Wade Napier
Analyst
+44 203 696 8774
wnapier@platinuminvestment.com

Brendan Clifford
Head of Institutional Distribution
+44 203 696 8778
bclifford@platinuminvestment.com

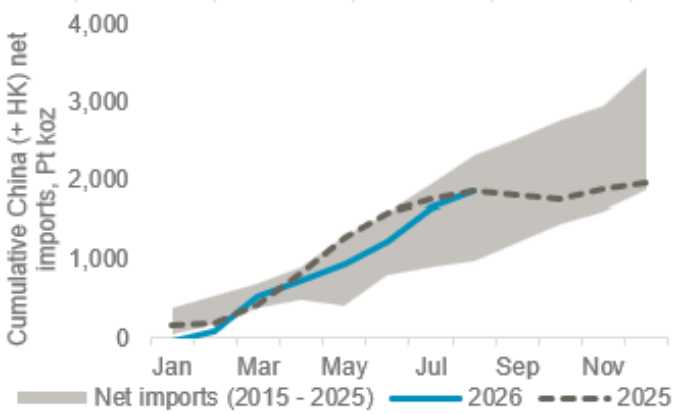
World Platinum Investment Council
www.platinuminvestment.com
166 Piccadilly,
London, W1J 9EF

2026 年 10 月 9 日

2026 年のプラチナ需要に対してはマクロ経済環境の影響が大きく、従来のファンダメンタルズ要因が影に隠れてしまった感がある。投資家にとってこの状況は短期的には変わらず引き続き注意が必要だが、プラチナ価格が下落している今こそ資産を構築する好機であると我々は考える。プラチナの重要な特徴として、多種多様な分野でプラチナが利用されていること自体が需要を守る緩衝材なのだ。その典型例として中国がある。中国のプラチナ純輸入量は 2025 年と 2026 年でほとんど変わっていないが、分野ごとの需要は大きく異なっている。現在のマクロ経済環境はプラチナにとっては逆風だが、プラチナの高い汎用性こそが我々の中期的需要見通し、そしてプラチナの投資に対する明るい展望を支える。

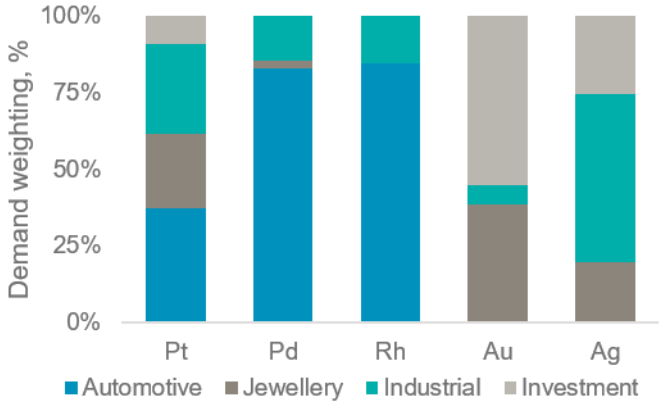
米 FRB は 9 月に金利を 0.25% 引き上げ、中間選挙後の 12 月に再び利上げが実行される確率は 80% 以上とされる。インフレ起因の金利上昇圧力は実質利回りの上昇と重なり(図 3)、プラチナ価格にとっては一時的な圧力になるだろう。プラチナ価格は年初から 20% 下がっているが(図 4)、マクロ経済要因に隠れてあまりプラチナのファンダメンタルズに光の当たっていない今こそ、プラチナ投資を始める良いチャンスとも言える。

図. 1 中国の 2026 年のプラチナ累積輸入量は 2015 年以来の過去最高に迫りつつある



出典: ブルームバーグ L.P.、WPIC

図. 2 プラチナを利用する分野が多岐にわたることが需要の長期的な堅調さを支える



出典: メタルズフォーカス、ワールド・ゴールド・カウンシル、Silver Institute、WPIC

PGM の中でもプラチナの利用分野は非常に多岐にわたっている(図 2)。最大のプラチナ消費国である中国を見ると、プラチナを利用する分野が幅広いがゆえの利点が明らかだ。2025 年はプラチナの宝飾品、インゴット、コインの需要回復が大きなテーマだった(図 5) が、2026 年はそれが暗転した。メタル価格の高騰でこれらの商品の需要は 2 月から大きく減り、触媒装置搭載の自動車生産も年初来 10% 以上の減産(図 6)だ。しかし、香港を含む中国のプラチナ輸入は 8 月までに 57.5 トンに達し、2025 年のペースに並ぶ(図 1)。中国国内のプラチナリサイクルも 1.7 トン減るとされる中で、この旺盛な輸入を支えているのが GFEX の取引所在庫 (図 7、約 4.7 トン) と AI 関連(ガラス、電子材、るつぼ) の需要なのだ。

プラチナの需要が多岐にわたる恩恵は、AI 需要の伸びと取引所在庫の増加が宝飾品と投資商品の需要減を補っている中国の安定したプラチナ輸入に現れている。

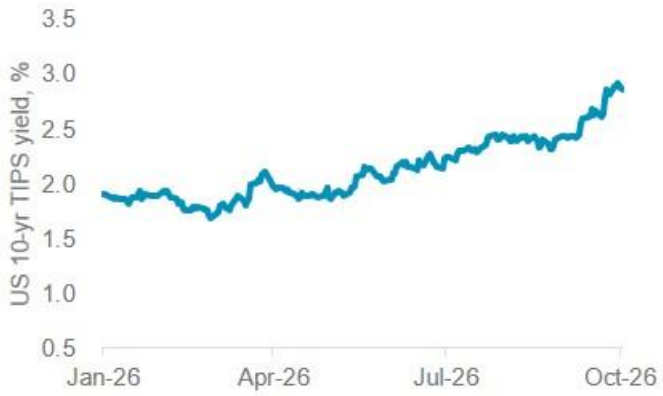
市場が大きく変動する要因があっても中国の輸入が安定していることを考えると、プラチナは足元のマクロ経済要因による逆風を乗り越え、今後も堅調な需要を維持できるだろう。したがって我々は、プラチナ市場は 2026 年の供給過剰(8.2 トン)を経て、2027 年は再び供給不足になると予測している。

© 2026 World Platinum Investment Council – WPIC®. All rights reserved.

投資資産としてのプラチナを支える背景:

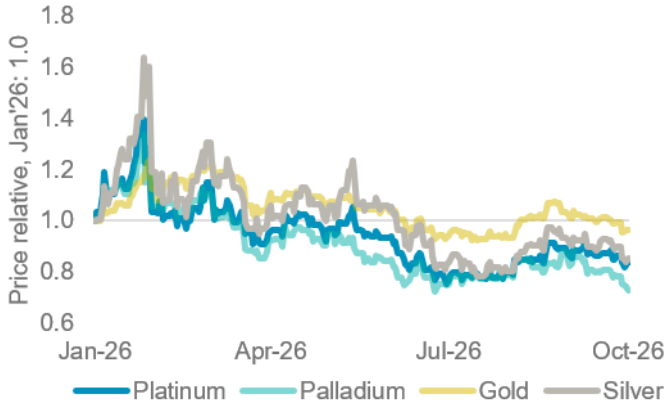
- WPIC のリサーチによるとプラチナ市場は2023年から2025年まで供給不足が続き、地上在庫は大きく減っている。
- プラチナ価格の上昇でリサイクル供給は増えているが、供給全体は伸び悩んでいる。
- プラチナは世界のエネルギー転換に重要な水素経済だけでなく、半導体生産やAI関連のデータセンター建設などでも不可欠な資源。
- プラチナ価格は歴史的に見ても過小評価されており、ゴールドよりも大幅に低い。

図 3: イラン戦争によるインフレとともに、実質金利も上がり、FRB の独立性に対する懸念も消えない



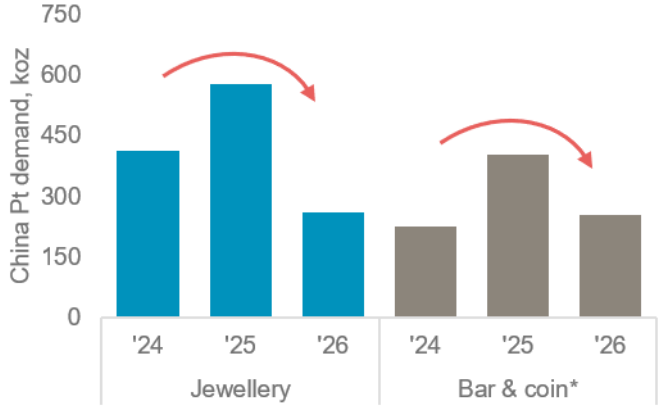
出典: ブルームバーグ L.P.、WPIC リサーチ

図 4: 金利の上昇で 2026 年は金利を生まない貴金属価格が下落



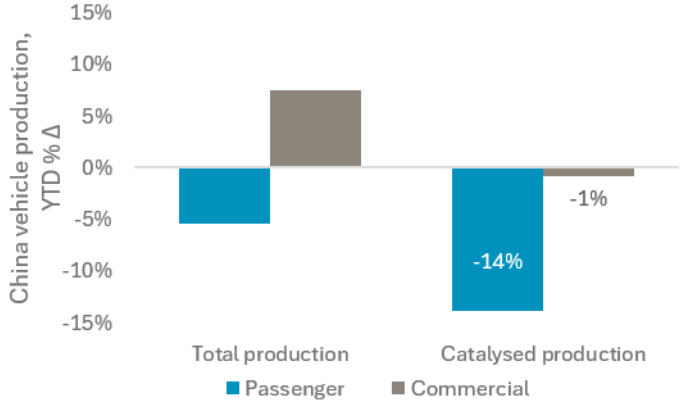
出典: ブルームバーグ L.P.、WPIC リサーチ

図 5: 中国のプラチナ宝飾品、インゴット、コイン*は 2025 年の大きく需要が伸びたが、2026 年は減少する予想



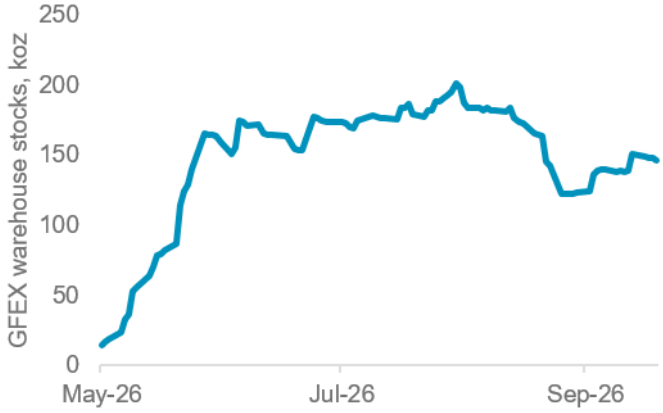
出典: メタルズフォーカス、WPIC リサーチ　*500 グラム以上の大型インゴットを含む

図 6: 年初からの中国の普通乗用車と商用車生産はそれぞれ 14% と 1% 減っており、プラチナ需要は 9% 減る予測



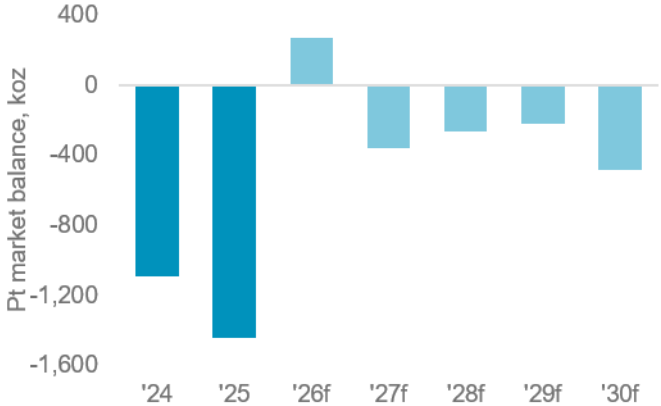
出典: ブルームバーグ L.P.、WPIC リサーチ

図 7: 2025 年に GFEX で始まったプラチナ先物とフォワード取引が取引所在庫の蓄積を支える



出典: GFEX、WPIC リサーチ

図 8: プラチナ市場は、今年前半に投資資金が大量に流出したことで供給過剰になるが、2027 年には供給不足に戻るだろう



出典: メタルズフォーカス (2024 年-2026 年予測)、WPIC リサーチ(2027 年-2030 年の予測)

© 2026 World Platinum Investment Council – WPIC®. All rights reserved.

免責条項: 当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また２０００年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime 及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家にための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えうるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われない。

WPIC のリサーチと第 2 次金融商品市場指令（MiFID II）

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(以下 WPIC) は第 2 次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引をも行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。（勧誘することもない。）

2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第 2 次金融商品市場指令（欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁）において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。

3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照。
website: http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。

© 2026 World Platinum Investment Council – WPIC®. All rights reserved.